



奈川の人口	
平成 26 年 7 月 1 日現在	
総世帯数	363 世帯
総人口	820 人
男	387 人
女	433 人
発行	奈川公民館
発行者	勝山裕康
編集者	公民館報編集委員会
印刷	(株)プラルト

いざという時のために!

～西部地区防災訓練～



人形を使った訓練で実体験

ができるのかを、一連の動きを通して教えていただきました。訓練では人形を使用しましたが、実生活の中で目の前で倒れている人がいたら…。訓練を一回でもしたことがあると一回もしたことがない人とは違って、できることが違って、備えあれば安心。学んだことはいざという場面できっと役に立ってくれるはず。

6月14日に、波田・梓川・安曇・奈川の4地区合同による防災訓練が安曇地区にて行われました。松本市社協が主催しているこの訓練は、波田・梓川地区に続き今回が3回目。各地区の日赤奉仕団をはじめ、町会連合会や民生児童委員など、大勢の方が参加されました。

安曇公民館では、日赤奉仕団による炊き出し訓練が行われ、慣れない場所でありながらも協力しあい、手際よく作業をこなしていました。

AEDを使った講習会も行われ、意識を失って倒れている人がいたらどうしたらいいのか、どう動けばその人の命をつなげることが



5月24日、「第4回野麦トレイル10マイル」が開催されました。天気に恵まれ、約450名の参加者が野麦峠スキー場センターハウス前をスタート。10マイル(16km)と5マイル(8km)のコースを、たくさんの方の声を援けながら駆け抜けました。10マイル男子トップの梶田泰葵選手は1時間28分50秒、最終の選手も3時間43分7秒かけて見事完走。入賞者には、山菜が贈られました。参加者からは「見

第32回 野麦峠まじり



5月25日、晴天の下、第32回野麦峠まつりが開催されました。観光協会の募集により、地元の子どもたちをはじめ、大勢の参加者が工女やボッカ

の衣装を着て旧野麦街道を歩きました。工女27人の中には、遠く静岡から来た方や、親子三代で参加した方も。ボッカは工女より先に定員となるほど意外な人気ぶり。みなさん当時の衣装で山歩きをする珍しいシチュエーションを楽しんでいました。

山行の終点になる峠は、700名ほどの方で賑わい、毎年恒例の高根保育園による餅つきのほか、警察音楽隊による演奏、ゆるキャラたちも登場して、会場を盛り上げていました。

梅雨をふつとばせ!

6月3日、奈川小中学校グラウンドでナイターソフトボールリーグ開会式が行われました。今年

は4チーム、83名が参加。最年少は21歳、最年長は75歳と、年の差54歳! 「幅広い年齢層で戦うことは、地域づくりに好ましく、体力にあつたプレーで大いに楽しんでください」と公民館長から挨拶がありました。

事な景色を見ると疲れも吹っ飛びました。「来年も出場したい」など嬉しい声をいただきました。夕方からは後夜祭も行われ、約100名が参加。抽選会やスライドショーで盛り上がり楽しい親睦会になりました。

2回総当たり戦で、全12試合。7月末まで行われます。



花よいさくらんぼ?

6月17日、中野市において福祉ひろば、奈川公民館、奈川地区社協共催の「バラ園ウォーキング」とさくらんぼ狩り」が行われました。スタッフを含め総勢45名での大きなイベントとなりました。

まずはさくらんぼ狩り。つやつやとした赤い実をつまんで口に運ぶと甘酸っぱい味がひろがりまです。種入れ用の小さな紙コップを種でいっぱいにした人もいました。ひとしきり食べた後はバラ園へ。大小様々なバラが咲き、あたりはバラの香りが漂います。優雅な香りにうっとり、でもこの日の気温は30度。暑さと戦いながらの観賞となりました。ただ歩くのはなかなか

野麦路



松本市内には蔵造りの建物が残っていて、私が好きな和食屋も、この蔵造り再利用の代名詞ともいえるお店。

ゆっくり天丼を食べ店内を眺めていると、いつもは気に留めなかったあるものが目に入りました。それは扉に大き

個性いろいろ ガーデニング講習会

6月17日、緑化事業の一環としてのガーデニング講習会に、14名の方が参加しました。アンゲロニア、リシマキア、日々草、ペゴニア、ランタナ、5種類の花の苗を組み合わせて寄せ植

大変ですが、花を眺めながらだと、自分でも気づかないうちに歩数も増えるようです。中野の街中は至る所にバラが植えられ、大切に手入れされています。住民の気持ち伝わってくるよ

うでした。いろいろな抱え帰路に書いた私たち。く黒々と書かれた黒い○3つとその下に一の文字。さっぱり意味がわかりませんでした。このデザインの意味はどういうことですか」とお店の方に聞いてみました。すると、これは当家の家紋であり「わたなべ」という名字を表しているとのこと。家紋を見れば分かる人は「あ



えをしました。各自好きな色を選んで、花の伸びる姿を想像しながら、色合わせや並べ方をデザインして配置。講師の先生からは、根元に土がかぶるとそこから腐ってしまうので、土をかぶせすぎないように注意すること、植えつけで根元を押さえるときは、指先で押さえると根が切れてしまうので、指の腹で押さえるなど、野菜苗にも参考になる植え方を教



作った寄せ植えを前に全員でパチリ

わりました。みなさん、それぞれ個性のある鉢植えが完成！玄関先を華やかに彩ってくれそうです。あ、わたなべさんですか」という話になるわけです。葵の紋を見れば徳川家というのと同じですね。わが家の紋はといえば残念ながら庶民に多用されている五三の桐。とはいえ桐は鳳凰がとまるとの言い伝えがある縁起のいい木だそうです。街歩きでひとつ賢くなりました。

(勝山有紀子)

奈川の歴史発見! ②

現在奈川にある石像物は、江戸時代の中期頃に建立が始まりました。その時代のもののほとんどは『文字碑』で、石に銘文を刻み、様々な祈願を行っていました。

川浦には、『南無大慈悲観音菩薩』と刻まれた奈川最古の石碑があります。村史では古宿にある寛永二年(1749年)の『奉納法華経塚』が奈川で最古のものとして残っていますが、月夜沢入口の石像物群の中にひっそりと祀られているこの石碑が、今回の調査で更に古いものであることがわかりました。

この時代には坂東(関東一円)・秩父(埼玉県秩父地方)・西国(岐阜県・兵庫)に至る2府4県の巡拝が全国的に盛んで、その成就の証しとして供養塔が



『奉巡礼西國秩父坂東供養塔』文政11年(1828年)建立



『南無大慈悲観音菩薩』正徳六甲歳(1716年)建立